

令和6年度金子小学校区学校運営協議会

1 日時 令和7年2月20日（木）10:10～11:00

2 内容

- ・ 地域との関わりに関する項目「地域の行事によく参加している」と答えた児童の割合が昨年度より若干上がっているものの、46%と低い。子どもが参加できる物も限られているという実態があるし、よく参加しているかどうかは子どもによって捉え方に差があるのではないかと。多くの子どもが参加しているラブ金子ふるさと夏祭りも地域行事である。「地域の行事に参加したことがあるか」という項目に変更してはどうか。
 - 今年度も様々な教育活動において、地域の方々にご協力いただき、充実した活動を行うことができた。ゲストティーチャーで来ていただいている方は、地域の方であり、日頃から私たちを支えてくださっていることや自分たちも地域の一員であることを教員が更に伝えていけるようにしたい。質問項目については、検討したい。
- ・ 「どんな力を身に付けさせたいか」の項目において。「自主性」は保護者が40.8%に対し、教員は14.8%となっており、大きな差が見られる。
 - どの項目も大切であるが、重要だと思うものを二つ選択するようになっていたので、優先順位として差が出たのだろう。これからの社会を生き抜いていくためには、積極性や自主性が特に大切になってくるので、保護者の方は選択された方が多かったのかもしれない。
 - どの項目が大切だと感じているかを調べるのであれば、二つを選択するのではなく、大切だと思うものを複数回答可で○を付けてもらうようにすると良いのではないかと。そうすれば、何を大切に感じているのかがよく分かると思う。
- ・ 小学校の子どもたちが学習している様子に心が洗われた。低学年の一生懸命手を挙げて発表する様子が微笑ましかった。教師の子どもたちに対する声掛けが丁寧だった。中学校でも見習いたい。
- ・ ICT機器の活用について、授業の導入で使ったり子どもの興味・関心を高めるために使ったりするのはもちろんメリットだと思う。ICTができる子はどんどん自主的にやらせるが、どうしても個別の支援が必要になる子がいる。その子への時間を作るためのツールとしても活用できる。結果的に、その延長線上で互いの学力が身に付いていく。
- ・ キーボードもブラインドタッチで行っている子もいてすごいと感じた。家庭でのタブレット学習は、データ上でやったことが先生にきちんと伝わるのが良い。これからパソコンを使用しない仕事はないと思うので、大切だと思う。
- ・ 6年生の授業で子どもが皆の前で発表していたが、プレゼン力がすばらしかった。結論をまず述べ、説明した後最後にもう一度結論を述べ、理路整然と発表していたことに驚いた。これは学校で教えているのか。これから身に付けていかねばならない力だと思う。
 - 私立高校入試ではプレゼンなどを行うようになってきており、自分をアピールすることが大切になってきている。
 - 特色選抜の一つに、ボランティアについて記載がある。ラブ金子などの行事に参加するなど、地域の方の力をお借りして、機会を増やしていただいて参加することで、小学生のうちから、勤

労奉仕の心を育てていけるようにしたい。中学校にはボランティア証明書がある。

- ・ 近所に小学生がいるが、挨拶をしても返ってこないことが多い。みんながそろっている登下校時よりは、個人でいるときの方ができにくい実態が見られる。不審者等もあり全体的に話さない傾向にあるのかもしれないが、どうすればよいか。登校班であれば班長次第で声が大きくなることも多い。

→ 挨拶できていない実態を伝え、早速指導するようにしたい。正門前の様子を見ていても、挨拶が習慣付いている子とそうでない子の差が大きく、目が合っても挨拶できない子もいる。声を掛け続けていくことで、みんなができるようになると良い。

防犯のことを考えても、地域の方と顔見知りの関係になることはとても重要なことである。挨拶を通じて、地域の方とつながれるようにしていきたい。

- ・ アンケートの項目が漠然としていて捉えにくいものも見られる。共働きの家庭が増えてきており、現在の家庭の実態を十分に考慮して質問項目を考えていくと良い。
- ・ 北校舎改修になると、お祭り集会など今まで行えていた行事が中止になることが予想される。校舎改修はどのようになるのか。

→ 状況を市教委に確認してみる。できるだけ行事は行っていくようにするが、中には変更が必要なものも出てくることが予想される。